



何を、どう伝えるか

校長 鶴田 欽也

4月に始まった1学期も学期末近くとなりました。今年は梅雨入りが例年より遅れましたが、段々と蒸し暑くなってくる時季です。体調を整えて夏に向かいたいものです。

ちょうど1学期の折返し点にあたる5月最終週に、恒例の校内弁論大会が開催されました。中学部（4名）と高等部普通科（5名）の二部に分かれ、9名の弁士が一人7分の持ち時間で自分の夢や思い、オリジナルな考えなどを自分のことばで発表しました。原稿作成から暗唱まで、この弁論大会に向けて一人ひとりが真剣に取り組んだ様子が垣間見える弁論の発表でした。

○ 日々の生活の中で深く考える習慣を持つ

私自身、生徒のみなさんの弁論から多くのことを学びました。一部を紹介すると、

- ・考えることも大切であるが、「実際に体験する」ことがさらに大切であること
- ・大きな夢や目標に向かって日常の小さな努力を「継続する」ことが大切であること
- ・新しいことに「勇気をもってチャレンジする」ことが大切であること
- ・できなかったことができるようになったときの喜びや自信が、「生きる源」となっていること
- ・身近な人とのコミュニケーションの大切さや、身近な人からの信頼や深い愛情を感じ、そこから

「感謝の気持ち」が生まれてきたこと

などでした。日常、物事を深く考えているということがうかがえる発表ばかりで、私も日々の生活の中で、物事を深く考える習慣を持つことが心の成長につながるのだと改めて感じました。

○ 何を伝えるかとどう伝えるか

9人の弁論の内容については、優劣の差はほとんどありませんでした。差がつくとすれば、内容ではなく「伝え方」だったのではないかと思います。自分の考えや思いをいかに効果的に、いかに印象深く伝えるか、ここが弁論のポイントであり、面白いところでもあります。

普段のコミュニケーションにおいて、伝える内容やメッセージの中身ももちろん大切ですが、「伝え方」や「言い方」がさらに大切だと思います。私たちは、相手の言い方次第で、そのメッセージを素直に聞き入れることができたり、逆に反感を抱いたりすることがあります。

自分の考えや思いをきちんとことばで相手に伝え、逆に相手のことばをきちんと受け取る——この点は社会に出てからも、常に気を配るべきことであり、とても苦勞するところでもあります。

日頃から「何を伝えるか」に加えて、「どう伝えるか」も意識してみませんか。ここにも力を入れるとコミュニケーションがさらにスムーズになり、あなたの周りもきっといい雰囲気になる——そんな気がしませんか。

見えない見えにくい人たちの生活、学習を応援する便利グッズは下記のようなところで手に入れることができます。通信販売もしているところもあるので、ネットで検索してみてもいいかもしれません。

- ・有限会社 ジオム社
- ・日本点字図書館 わくわく用具ショップ
- ・日本盲人会連合 用具購買所
- ・株式会社 大活字 共用品推進機構サイト
- ・眼鏡店（福祉機器を取り扱っている店）



幼小小学部

幼小小学部では、個別学習を中心に行っていますが、集団での学習や活動も行っています。

教科では、体育、音楽、図工、生活科の一部を合同で実施しています。また、教科領域を合わせた指導の時間でも、合同での学習を行っています。

それ以外の児童集会、ふれあいタイム、お話会などでも集団で学び合う機会を設けています。



児童集会で先生が特技を披露しました。



ふれあいタイムで円になり、しりとりを楽しみました。

中学部

5月31日（金）に校内弁論大会が行われました。中学部の4名は、緊張しながらも堂々とした発表ができていました。7分間という規定時間内にそれぞれの思いや考えを熱く語っていました。この経験が、今後の大きな自信につながると思います。



高等部

【普通科】

5月31日（金）に校内弁論大会が行われました。普通科から5名の生徒が出場しました。「父と私の夢」「夢のつぼみ」「高等部2年生になった私」「小さな一歩」「私の目標」の演題で、自分の夢や視覚障害を通じて得られた体験等を発表しました。自分の思いを人に伝えるよい経験になったようです。



【理療科】

「臨床体験を豊かにし、施術者にふさわしい技能と態度を養う」ことを目的に6月4日（火）専攻科理療科と保健理療科の3年生2名が「ケアハウスはがくれの郷」（佐賀市）で第1回臨地実習を行いました。実習生は、施術中のコミュニケーションの大切さを改めて痛感していました。

寄宿舎

6月6日（木）に第50回舎祭を行いました。今回は「睦寮 50周年ありがとう令和元年祭」をテーマに計画から本番まで実行委員を中心に舎生が主体的に取り組んでくれました。当日のクイズやボウリングでは正解やストライクがでると歓声が上がり、また部屋対抗でのビンゴ大会では当たった景品に一喜一憂するなど大いに盛り上がりました。舎祭終了後みんなで景品のカップ麺を楽しく食べているのが印象的でした。



見えないことや見えにくいことで困っていませんか？
「目の支援センター ゆうあい」へ相談してみましょう。
相談は無料です。秘密は厳守します。
相談しても、盲学校に転入学する必要はありません。

佐賀県立盲学校
目の支援センター
ゆうあい



TEL 0952 - 23 - 4672